

やすらぎ通信

第 69 号（平成 28 年 8 月 1 日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

葉月(はづき)



(万代池から望む大阪府立急性期・総合医療センター)

<目次>

喫茶室	・・・P. 1
今月・来月の催し	・・・P. 2
管理栄養士のコーナー	・・・P. 5
今月のコンシェルジュ	・・・P. 6

NEWS	・・・P. 6
今月の風景	・・・P. 9
地域の医療機関の皆様へ	・・・P. 10
編集後記	・・・P. 11



8月になりました。連日、朝早くからセミたちが「我が世の春」（「夏」ですかね？）とばかりにけたたましい鳴き声を上げています。

先月の21日に当センター内に建設する新棟（大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称））の安全祈願祭が行われました。いよいよ本体工事に着手です。新棟の進捗状況は当センターのホームページで皆様にお知らせしてまいりますので、是非ともホームページをご覧くださいと思います。

さて、今月5日からリオデジャネイロオリンピックが開催されます。オリンピックのシンボルマークの「五輪」は五大大陸とその相互の結合・連帯を意味しているそうですが、31回目にして初めて南アメリカ大陸で開催されるオリンピックとなります。治安の悪さやジカ熱の感染を懸念して出場を辞退する選手も出ましたが、何事もなく大会が進み、世界中の人々に感動を与えてくれることを心より祈念いたします。

オリンピックの記憶を辿ってみますと、東京オリンピックは5歳になる年でした。未だ幼かったのでオリンピックより遊びの方に夢中で、テレビに囁き付いて見たという記憶はありません。マラソンの円谷選手が競技場内でヒートリーダーに抜かれ惜しくも銅メダルだったことや女子バレーボールの「東洋の魔女」が金メダルを取ったことも、ライブではなく、その後のドキュメンタリーなどで見た次第です。

女子に負けじと男子バレーボールでもミュンヘンで金メダルを取りました。中学1年の時で、当時「ミュンヘンへの道」というテレビアニメが放映されていました。学校では皆「Aクイック」だの「Bクイック」だの言って、その番組の話や猫田選手、横田選手、大古選手ら日本代表選手の話で盛り上がっていました。オリンピックが始まるとテレビの前に釘付けになり、本当に金メダルを取った時には心の底から感動したものです。

残念だったのはモスクワです。柔道の山下選手やマラソンの瀬古選手など、金メダル獲得が有力視されていた選手がいたにも拘らず、ソ連のアフガニスタン侵攻に抗議してボイコットしました。4年後のロサンゼルスでは、残念ながら瀬古選手はメダルを取れませんでした。山下選手は負傷した右足を引きずりながらも見事寝技で一本勝ちし金メダルを獲得しました。多くの人が今もそのシーンを覚えていると思います。

他にも、100m平泳ぎで金メダルを取った14歳の岩崎恭子選手の「今まで生きてきた中で一番幸せです」や、マラソンで銀メダルと銅メダルを取った有森選手の「自分で自分を褒めたいと思います」の名言など、まだまだオリンピックに纏わる思い出話は尽きませんが、紙面が足りませんのでこのくらいにしておきます。今回のリオ五輪でもいつまでも心に残る名シーン、名セリフを期待しています。選手の皆さん、頑張ってください！

今月・来月の催し

【第20回病院ギャラリー企画展『花博写真美術館コレクション展(第2弾)』】

開催期間 6月13日(月)～9月9日(金)

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 24作品

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。

【第40回万代・夢寄席「三代目桂春団治一門会」】

日時 8月1日(月) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 桂 春蝶氏、桂 小梅氏

入場料 無料



【第48回相愛大学連携コンサート「声楽」】

日時 8月25日(木) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 黒田 美羽氏(ソプラノ)、梅 千晶氏(ソプラノ)

高御堂 なみ佳氏(ピアノ)

入場料 無料

【すこやかセミナー「日ごろよく見かける子どもの外科疾患 その2

—先天性胆道拡張症と胆道閉鎖症について—】

日時 8月26日(金) 午前11時～12時

場所 本館3階 講堂

講師 小児外科主任部長 中村 哲郎

参加費 無料

【すこやかセミナー「肺がんとはどんな病気」】

日時 9月8日(木) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

講師 呼吸器内科主任部長 上野 清伸

参加費 無料



【府民公開講座「認知症ってどんな病気」】

日 時 9月10日(土) 午後1時30分～3時 (午後1時開場)
場 所 本館3階 講堂
講 師 神経内科診療主任 甲田 亨
参加費 無料

【第41回万代・夢寄席「桂かい枝 秋の落語独演会」】

日 時 9月12日(月) 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 桂 かい枝 氏
入場料 無料



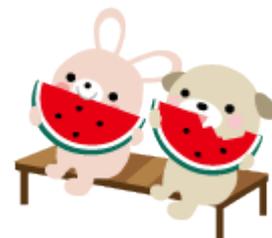
【相愛大学連携 第62回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 9月21日(水) 午後2時～3時
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 糖尿病の大事なキーワード「え・の・き」って何？
糖尿病の大血管障害について
(糖尿病内分泌内科医師 笠井 乃梨子)
眼底検査 (検査科・臨床検査技師 藤田 武)
骨のための糖尿病食 (相愛大学 准教授 竹山 育子 氏)
参加費 無料

【すこやかセミナー「アンドロロジー（男性学）とは何か？」】

日 時 9月23日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 講堂
講 師 泌尿器科主任部長 高尾 徹也
参加費 無料



【エンディングセミナー2016

「いちばんわが家に近い「最期の場所」～ホームホスピスから地域を考える～」】

日 時 9月24日(土) 午後2時～4時30分
場 所 大阪市天王寺区下寺町 1-1-30 大蓮寺

地下鉄谷町線「谷町9丁目」出口3番・堺筋線「日本橋」出口8番より徒歩6分

講師 特定非営利活動法人みぎわ 副理事長 櫻井 徳恵 氏
奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会会長 浦嶋 偉晃 氏
浄土宗大蓮寺住職・應典院代表 秋田 光彦 氏

参加費 1,000 円

申込 應典院寺町倶楽部 電話：06-6771-7641

FAX：06-6770-3147 メール：info@outenin.com

【第9回 脳卒中教室 ～脳卒中は予防できる～】

日時 9月27日(火) 午後2時～4時

場所 本館3階 講堂

テーマ 脳出血

内容 脳出血について (神経内科医師 石倉 照之)
脳出血の治療 (脳神経外科医長 堀内 薫)
日常生活の注意点について (脳卒中ケアユニット看護師)
リハビリテーションについて (理学療法士 李 仁洙 ほか)
栄養について (栄養管理室 室長 山根 泰子)

参加費 無料

【作品展（コスモス会の開催と作品の募集について）】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月26日から28日の間、本館3階講堂で開催いたします。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格 患者さんとその家族及び病院関係者

応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務・人事グループへお問い合わせください。(連絡先：06-6692-1201 内線2313)

応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか

作品受付日 10月26日(水) 午前9時～10時

作品返却日 10月28日(金) 午後4時～5時



管理栄養士のコーナー

～ちょっとおいしい話～

夏本番、暑い日が続き、夏バテしている方も多いと思います。夏バテで食欲が低下してしまった時にぴったり、旬の食材を使ったスタミナ満点カツオのたたきをご紹介します。調理も手間がかからず、暑い日のおかずの1品にいかがでしょうか？



《材料》	(1人分)	(2人分)
カツオのたたき	70 g	140 g
玉ねぎ	40 g	80 g
わけぎ	10 g	20 g
大葉	1 枚	2 枚
生姜	1/2 片	1 片
にんにく	1/2 片	1 片
ポン酢	小さじ2 杯	大さじ1+小さじ1 杯
ごま油	小さじ1 杯	小さじ2 杯

(1人前) エネルギー：182kcal たんぱく質：18.8g 脂質：8.4g 食塩相当量：1.1g

- ① カツオのたたきをスライスしてお皿に並べる。
- ② 玉ねぎ・にんにくはスライス、わけぎは小口切り、大葉は千切り、生姜はみじん切りする。
- ③ なるべく小さな鍋にごま油を入れ、にんにくを入れて火にかける。焦がさないようにかき混ぜ、きつね色になったら火を止める。
- ④ にんにく以外の野菜をカツオに乗せ、ポン酢をかける。
- ⑤ ③のにんにくを油ごとそのままカツオに回しかけ、よく混ぜるとできあがり。

夏から秋が旬のカツオは、ビタミンB群や鉄が豊富で旨み成分のイノシン酸が多いのが特徴です。夏が旬の薬味である大葉、生姜、にんにくのような香味野菜は上手に使用することで減塩にもつながります。

栄養管理室 堀江 飛鳥

今月のコンシェルジュ

平成 28 年 4 月 1 日よりコンシェルジュのメンバーが
代わりましたので、紹介させていただきます。

【コンシェルジュ 筈谷（はずたに）さんの巻】

私が大阪府立急性期・総合医療センターにコンシェルジュとして配属されたのは、今年の 4 月です。様々な仕事の中からコンシェルジュを選んだのは、これまで母の介護を通して、多くの病院関係者の方にお世話になり、励ましや優しさに接してきたことがきっかけになったのだと思います。

私は看護に携わることはできませんが、病院に初めて来られたご高齢の患者さんや病気に苦しむ方々のために、少しでもお役に立ちたいという気持ちで業務を行っています。4 ヶ月たった今も、覚えることが山積みで、先輩にご迷惑をお掛けしていることもあると思います。

患者さんの質問に上手に答えられなくて落ち込んだり、ちょっとした会話で笑顔を返してくださったことに喜びを感じたり、一喜一憂の毎日ですが、今後もコンシェルジュとしてもっと成長していきたいと思っています。

NEWS

【ボランティア活動のお知らせ】

病院ボランティアの活動は、病院に訪れる患者さんやご家族の気持ちを癒し、和らげ、安心感につながるとともに、ボランティア自身も新たな気づきが生まれます。当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアを受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。

また、小児科病棟では、保育学生のボランティアやクリニックラウン（臨床道化師）の訪問、夏まつりでコーヒーショップの応援を得ています。入院生活を送っている子どもたちに、笑顔をもたらし、子どもたちとご家族には、本当に嬉しい顔、喜ぶ顔、歓声で、楽しい時間を過ごしていただいています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

今年も 8 月には小児病棟で夏まつりを実施しますので、多くの方々に病院ボランティアのご参加をいただきたいと思っています。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」と

「当センターの 60 周年記念動画」をホームページで公開しています！】

平成 26 年春、府民の皆さま向けに当センターで行われている最新治療を紹介した書籍を出版しましたが、このたび一部を時点修正し、当センターホームページからすべての内容をご覧いただけるようにしました。

当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるよう執筆しています。いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民の皆さまがよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための情報としてご活用いただければ幸いです。

また、当センターは平成 27 年で創立 60 周年を迎えました。これを記念して作成した動画も公開しています。当センターの沿革や概要、治療方針などを分かり易く紹介しています。是非ご覧ください。

いずれもトップページ下部からご覧いただけます。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携センターー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、専門の看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9 診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の 9 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意

いただきますようお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右の QR コードをご利用ください。



【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさ

えあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。
なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

今月の風景



【コメント】

阿寺溪谷は、木曾川に流れ込む支流の阿寺川にある溪谷です。

川底が見えるほど透き通った水、水が光によってエメラルドグリーン色になっている様子は神秘的です。白黒になると、美しい色合いをお伝えできなくてとても残念ですが、皆さま、ぜひ一度、足をお運びになって美しさを体感してみてください。

(西上 香代 氏撮影「阿寺溪谷」(撮影地：長野県木曾郡大桑村・阿寺溪谷))

【歯科口腔外科の診療のご案内】

歯科口腔外科では、口腔癌をはじめとした口腔粘膜疾患の診断治療、受け口、出っ歯など上下顎骨のゆがみに起因した顎変形症の診断治療、顎顔面外傷、顎関節症、顎骨内嚢胞・腫瘍、唾液腺嚢胞・腫瘍、歯性感染症、歯科インプラント治療、智歯の抜歯など口腔外科疾患に特化した診療を行なっています。

1. 口腔癌

舌癌を代表とする口腔癌は、稀少癌に属しその発生頻度は人口 10 万人あたり 3 から 5 人程度とされています。当科では年間 40-50 例の手術を行っています。視触診で診断のつく症例が多いのが特徴で早期発見は可能ですが、顔貌変形を伴うほどの進行例もまれではありません。舌癌では、癌周囲の粘膜異形をルゴール染色で可視化させ、深部筋層の切除に際しては舌用エコープローブを用い、最大腫瘍厚径から安全域を設定し舌筋内にマーキングを施し根治切除を目指しています。



2. 顎変形症

術中骨切り部を内視鏡で確認し、安全で確実な手術を行なっています。予定手術ですので必要な症例には自己血輸血を行なっています。骨固定を強固に行なう事で、顎間固定期間短縮ならびに入院期間が短縮され入院期間は下顎単独もしくは上顎単独骨切り、上下顎骨切り、いずれも平均 9 日です。

《最近のトピック》

上顎インプラント治療に欠かせない上顎洞挙上術に選択される材料は自家骨がゴールドスタンダードでしたが、自家骨に置換される人工骨 (β -TCP) との比較検討で長期成績に差が無いことが明らかとなり、当科でも人工骨を選択しています。手術侵襲が大幅に軽減され局所麻酔下での治療が可能となりました。

歯根嚢胞に対する従来法による歯根端切除の治療成績はそれほど高いものではありませんでした。

近年顕微鏡下歯根端切除術の治療成績は 90%と報告され、当科でも最新機械（歯科用 CT ならびに歯科用顕微鏡、内視鏡）の導入により本格的に開始されました。歯科用顕微鏡では第二小臼歯まで、内視鏡を併用することで第一大臼歯まで適応拡大が可能となりました。

歯科口腔外科の診療を通じて地域医療に貢献したいと存じますので、これまで以上のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

歯科口腔外科 主任部長 石原 修

編集後記

今年は8月11日に、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日として「山の日」が制定されました。夏は多くの高山植物が咲き誇り、見頃を迎えるようです。社会人になってからは祝日の存在が貴重に感じるようになり、祝日をどのように過ごすか、考えるだけでワクワクします。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・タイトル、撮影日時、場所についてコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。